

なごやのまち

今昔

尾張名所図会

うしまきのふち
牛巻潭

なおりい ほうでん
瑞穂区直来町、宝田町

うわばみ
都市の地下に眠る巨蛇伝説



※現在地の住所と現況写真の撮影地は、資料に基づき推定したものです。
※左の絵は原本を一部加工、着色しています。

この絵は、尾張名所図会に描かれている戦国時代（弘治2（1556）年）の尾張国高田村（瑞穂区北西部）付近の様子です。

左手には牛に巻き付いている巨蛇、それに対峙するのは、強弓の達者である大原真人武継。まさに弓を射ようとしている瞬間を、生き生きと捉えています。

当時、この辺りには深い潭があり、そこに住み着いた巨蛇が時折付近の牛馬を襲い人々を困らせていました。たまたま通りかかった大原が、異変に気づいて家に戻り弓を携え、矢継ぎ早に矢を射かけて見事に退治。巨蛇の死骸は、祟りを恐れた人々が塚を作って葬りました。

巨蛇が住んでいた潭があったと思われる場所の一つである精進川は、用水の落ち水や生活排水等を水源とした悪水路で、川幅も狭く、たびたび氾濫して流域に被害をもたらしていたことや、舟運にも不便であったことから明治38（1905）年に新堀川が開削されたことにより埋め立てられました。

また精進川以外に、巨蛇が住んでいそうな潭があったと思われるため池も、昭和の初め頃に耕地整理などで消失し、往時を偲ばせるような痕跡は何もなく、現在は閑静な住宅街となっています。

〈関連資料〉※（ ）内は、まちづくりライブラリーの請求記号

「瑞穂区誌区制施行50周年記念」名古屋市瑞穂区役所／編、名古屋市（2B21-94）

「瑞穂区の地名・町名考」木全秀視／著、瑞穂フォーラム社（Sd-キ）

「尾張名所図会 絵解き散歩」前田栄作／著、風媒社（Sc-マ）

「地図と写真から見た熱田駅・熱田運河・常滑線の今昔」野村眞平／著（Sc-ノ）

「新説 名古屋の伝説 全」名古屋市文化財調査保存委員会／著 名古屋市（Sc-フ）



牛巻交差点より北西を望む



名高速大高線堀田IC入口北東付近には、明治頃までは旧精進川やため池など水辺があった。
※池の名は寛政期村絵図による。場所は推定地